

「三年とうげ」 李 錦玉 作
リ クムオキ

めあて

「三年とうげ」を読んでかんそうを話し合い、学習することを決めよう。

おもしろいところ

わけ

○ おじいさんの様子

- ・「おいおいなきました。」
- ・「ころりん、ころりん…… わらいました。」

○ 二つの歌

- ・「三年とうげで……」
- ・「えいやらや……」
- ・「へん転べば三年で……」

○ 組み立て

- ・おじいさんが転ぶ。始めと終わりで様子がちがう。
- ・歌ったのはだれだったか。

- ・言い伝えを信じているから。元気になったから。

- ・リズムが楽しい。
- ・二つの歌の意味が反対。
- ・長生きできるから。

- ・始めに転んだら病気になるのに、後で転んだら、元気になったから。
- ・クイズみたいだから。

学習かだい

感想を自由に発言させる。教師が分類整理をしながら板書する。

組み立てを考えて物語を書こう。

【1 / 12 時間目 指導略案】 使用するワークシート①

活動のねらい

初発の感想を交流させ、学習課題を決めることができるようにする。

1 学習の見通しをもつ。

- ① 今までに読んだり聞いたたりした民話・昔話や物語を思い出し、その組み立てについて考える。

- 既習の教材文（お手紙、スイミーなど）の挿絵を並べ換えさせるクイズなどを出しながら、物語の組み立てに興味をもたせ、教材文につなげる。

② 教材文の読み聞かせを聞き、初発の感想を書く。

- ・ おもしろいと思ったところ
- ・ 心に残った言葉
- ・ 話の組み立てなど

2 感想を交流し合い、学習の課題を決める。

【発問】おもしろいところや心に残った言葉を発表しましょう。また、そのわけも説明しましょう。

- 児童の感想は、「おじいさんの様子」「二つの歌」「組み立て」に分類し、そのわけも板書する。

- 「三年とうげのぬるでの木のかげで、歌ったのはだれだったのか。」「なぜ、おじいさんは元気になったのか。」「などの感想から、物語の内容を詳しく読み取る必要性を感じさせる。また、「作者のようにおもしろい物語を書きたい」などの感想があれば、取り上げて書く活動へつなげ、なければ意図的に書く活動へつなげて課題意識をもたせる。

評価 学習課題を決めるために、進んで話し合おうとしている。

3 本時を振り返り、次時について知る。

- 次時は、本時の学習を基に学習計画を立てることを知らせる。